

コース 13 あかづらやま 赤面山

リーダー CL M/T SL T/K、K/T
 実施日 平成23年6月5日(日) 天候 薄曇り～雨
 参加者 35 (男性 6 女性 29)
 グレード B
 コースポイント

| ポイント | 到着時間 | 出発時間 | 備考 |
|-----------|-------|-------|------------------|
| 秋葉区役所 | — | 5:45 | 新津駅西口経由 |
| 新鶴IC | 6:53 | 7:02 | 休憩 一般道走行 |
| 道の駅「しもごう」 | 8:01 | 8:12 | 休憩 |
| スキー場跡登山口 | 8:40 | 8:55 | 自己紹介 |
| リフト終点 | 10:12 | 10:20 | 休憩 ここよりブナの森へ入る |
| 分岐 | 10:25 | 10:30 | シャクナゲ オオカメノキ |
| 赤面山頂上 | 11:15 | 12:10 | 三等三角点 記念撮影 昼食 |
| 分岐 | 12:40 | 12:50 | 記念撮影 |
| 堀川登山口 | 15:00 | 15:15 | シロヤシオのトンネル 班単位撮影 |
| 秋葉区役所 | 18:17 | — | 「しもごう」立ち寄り |

山行等概要（幹事のコメント）

- 多数の参加により大型バス一台となり、参加経費が安くなる。(1名キャンセル)
- 登山口よりゴロゴロ石の登り、先頭はゆっくりすぎる位に、また時々立ち止まっては振り返り歩行。しかし、後ろの方は早く感じるから不思議。
- 分岐からは新緑のブナ林の見事さに一同感激。
- 山頂では寸時遠望できたが、瞬く間にガスがかかり、残念ながら那須連峰は見る事ができなかった。
- 下山は分岐から期待していた見事なシロヤシオのトンネルに目を奪われ思い思いにカメラのシャッターを切る。
- シロヤシオのトンネル下りのハイライトを過ぎた辺りから、雷が鳴り雨が降り出す。天候だけはどうすることもできませんね。



赤面山山頂にて 1,701m

「赤面山」

(1493) K/I

一週間前にひいた風邪で喉の痛みが残り、ウェストポーチに沢山のど飴を忍ばせての山行きとなりました。しかしバスに乗ると、初めて登る赤面山への期待が高まり、友達と楽しいおしゃべりをしているうちにあっという間に登山口に到着。天気は薄曇りで、暑く強い日差しを想定していたので、ホッと一安心でした。

スキー場跡の登山口から歩き始め、グレンデの両側のブナ林を見ながら、ウグイスのさえずりに「いい声で出迎えてくれてありがとう。」と癒され、時々吹く風は心地よく汗を吹き飛ばしてくれました。

ようやくブナ林の中に入ると、足下には葉がハートのような形をしたマイヅルソウが群生し、両脇に目をやると濃いピンクで縁取りをしたようなアズマシャクナゲが艶やかに咲き、ダケカンバの白い幹は周りの緑をより美しく際立たせていました。

岩のゴロゴロした山頂の一角を抜けると、頂上は残念ながらガスがかかり眺望は開けませんでした。一瞬ガスが晴れ、三角錐の美しい旭岳の姿が一寸だけ見ることで感動！

下りは往路とは違う道を通ると、ブナ林の中はシロヤシオの花のトンネルでした。脚力に自信のない私でも「こんな登山道ならどこまでも歩いていけそうな気がするなあー」と独り言。あまり見事な花のトンネルで写真タイムを取っていただき、めったに写真を撮らない私も携帯の待受にしようと、思わずシャッターを押してしまいました。



素晴らしいシロヤシオのトンネル内で 5班



見事なブナ林の分岐で 1, 2, 3班

半分ほど下った頃、雷が鳴りだし雨も降ってきて雨具を着ることになりましたが、雨に濡れた木々や花も生き生きとし、緑を増したようでした。登山口に近づく頃には雨も小降りになり、無事下山することができました。

見事な花の時期に企画していただいた幹事さん、お世話になったリーダーさん、参加者の皆さん、ありがとうございました。